

# 大石田町活性化検討協議会報告概要

地域再生を担う人づくり支援調査

## 豊かな自然と食文化の再発見

そば王国大石田を目指して

「そば」を活用した観光や商品開発等を検討

山形県大石田町

大石田町活性化検討協議会

### 事業の背景と目的

#### (1) 背景

町の資源を生かし、そば店主・そば好きの愛好者・そば生産者等と町が一体となり、町の現状や課題を整理し、全国から認識されている「そば」を中心とした「食」や「体験型観光」等の新たな観光資源や商品開発への取り組みを行い、多くの観光客に大石田ならではの「もてなし」とお客様のニーズに対応した「そば」等の提供により、町の活性化を図るとともに地域リーダーの育成を推進する必要がある。

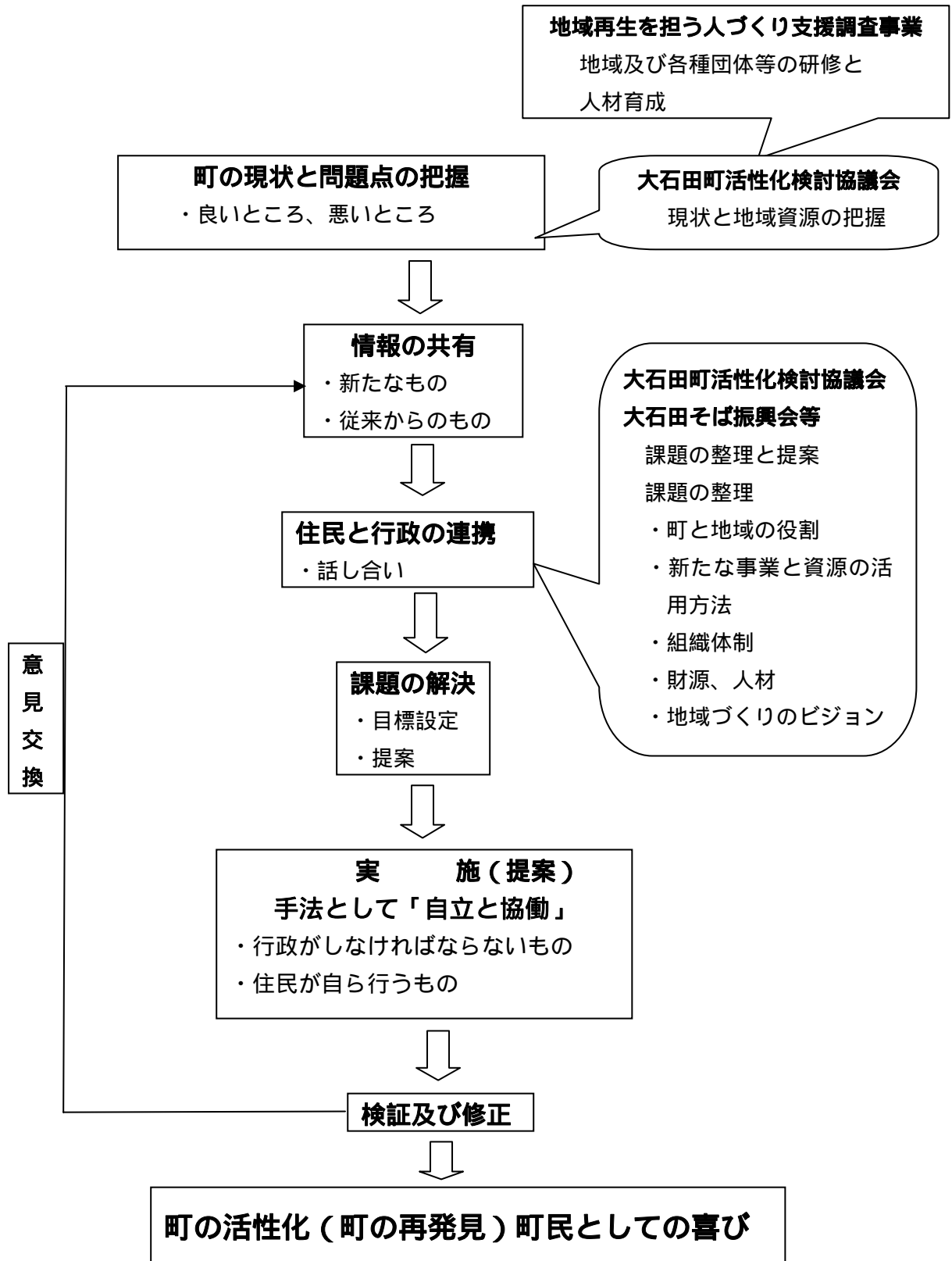
#### (2) 目的

当町の良いところ・悪いところ・改善すべきところ等を様々な角度から現状や課題を整理し情報を共有し、先進的な事例等の情報を得たりし、相互研修を通じて自己啓発と新しいコミュニケーション手法を体得する。

また、「そば」を中心とした「食」や「体験型観光」等をキーワードとして、課題解決の方策や実施可能な事項を具体的、且つ、積極的に提案することにより、町全体の活性化、交流人口の増加と経済効果が図られる。

目的達成には、地域リーダーの役割は大きく、更なるリーダーの育成が必要不可欠であり、地域住民と町の連携を密にし、住民の自らの発想を引き出すことにより、町の特徴ある発展が可能となり、町全体の再生と活性化が図られる。

# 地域づくり活動のあり方の概念図



## 具体的な提案事項

### 提案1

#### ケース1

### もてなしの具現化

あるものの活用（蔵の空き家等）



駅から最上川までの間に一服茶屋施設



地元の特徴ある漬物や新鮮な農産物の販売



運営 5～6人の老人（ばあちゃん達）→空き家利用の趣旨を理解  
してもらい、運営協力してもらう  
町内の人誰でも気軽に訪れられる環境作り→老人福祉への結びつき  
来町者へのアピール

1

#### ケース2

### 住宅の一部借用(本町地内)



町営駐車場に近い、旧家の一部借用  
歴史的なポイントが周辺に点在している  
物語のある街並みで一休み・・・歴史を語れる案内人  
そば店やお茶などの提供

#### ケース3

### 店舗前や自宅前のベンチ設置



大石田駅利用客や観光客が町内散策の休憩スペースの確保  
大石田らしさのもてなし→漬物やお茶のもてなし等  
地元の木材使用→間伐材等・自分たちの手作りベンチ

2

## 提案2

### 町を訪れた文人墨客と食の物語(松尾芭蕉や齋藤茂吉の活用)



とろろ八杯・そばと自然薯の組合せ  
(由来や松尾芭蕉・齋藤茂吉も食べたという物語)

## 提案3

### 農産物販売の連携



新幹線利用客へのサービス  
既存販売所温泉館＝大石田駅＝本町(観光客)商品検索、移動販売システム  
季節ごとの食や農産物を扱う店→漬物の漬け直し

## 提案4

### 長期間イベントの実施



ひなまつり→2日間ではなく1週間とか

3

## 事業実施のフロー

### 大石田町活性化検討協議会

#### 《構成員》

- ・町長
- ・大石田そば街道振興会(そば店)
- ・商工会
- ・観光協会
- ・そば道楽会
- ・JA
- ・農家(そば生産者)
- ・山形県職員
- ・町職員

#### 実施



#### 目的

町の資源を見つめなおし、活用できることを具体的に提案することによって、町の若手の担い手を育成する

#### 実施内容

- 単座研修会の実施  
人材を育成するため、町の現状や課題を整理し、課題解決や新たな提案を行う機会と先進事例の分析研修の実施
- 地域づくりのOJT  
単座研修会に基づき必要な実践活動の実施
- 国土交通省が主催する「地域リーダー研修会」への参加
- 報告書の提出(年度末)



## 残された課題と今後の取り組み

### (残された課題)

- 協議会会員自らができる具体案の整理と実施・行動
- 誰(町やその他の団体等)が行うのか等実施主体の明確化
- 空家の利用可能な物件の整理
- 関係する機関等への具体的提案内容の周知
- 報告書提出で事業完了としない継続した取り組み



### (今後の取り組み)

- ☆報告会の事後研修
- ☆会員の定期的な勉強会  
自分達の実現に向け行動できることや大胆な発想の場
- ☆やる気のある人材の確保
- ☆簡易ベンチ製作と設置  
自ら考え自ら行動する  
既成事実